

ご注意！！

偽物ソフトの取締警察官になりすました詐欺が発生しています

2009年11月12日の政府の掲示板によりますと、全国でWindowsの偽物取締担当官になりすまして違法に著作権の取締りを行う犯罪集団が発生しております。ご注意ください。この背景として、10月26日より警察等が新聞などで大々的に偽物取締のキャンペーンを張って、実際に多くの企業に立ち入りしコンピュータソフトの偽物を押収しております。これは、以前にご連絡させていただいた通りです。それに便乗して、様々な会社にWindows著作権の取締担当官になりすまして違法に著作権の取締りを行う犯罪集団が現れています。知らずに被害に遭った会社ではコンピュータが押収され、財産を脅し取られます。

担当官が本物であるかどうか見分ける方法は以下のとおりです。

1. 担当官は必ず捜索令状 (**หมายค้น** Search Warrant) を持っています。捜索令状が正しいものであるかどうか、会社名、番地、捜査日と定められた時間が何時から何時までであるかを、落ち着いて詳しくチェックしてください。捜査日時、捜査場所など、ほんの少しでも違いがあれば、きっぱりと捜査を拒否して下さい。
2. 警察官が必ず同行しますが、この警察官についても詳しくチェックしてください。服装は、肩の上に星が少なくとも一つ以上ある地位の警察官でないと捜査できません。また、警察官証を見せてもらってください。そして、警察官証の有効期限をチェックしてください。また、捜査令状と名前が一致しているかチェックしてください。有効期限が過ぎていた場合や、名前が不一致の場合には、あなたは即時に捜査を拒否することができます。
3. 捜査令状に名前のある人だけが、御社の中に入れます。入る人一人ずつの身分証明書と捜査令状とをチェックしてください。身分証明の無い人は入れてはいけません。
4. なりすましグループでは、裁判所の発行した捜査令状の代わりに、「取り調べ調書」

บันทึกประจำวัน のようなものを持参し代用しようとする場合があります。ちゃんとした捜査令状でないと中には絶対入れないようにしてください。

詳しくは政府の掲示板（タイ語）をご参照ください。

http://www.ipthailand.org/ipthailand/index.php?option=com_content&task=view&id=1234&Itemid=390

以上